

男女共同参画推進のための職業講話（第一小学校）

と き	令和 7 年 11 月 20 日 (木) 10:20～12:20
と ころ	沼津市立第三中学校 教室
対 象	1 年生 (116 名)
沼津市立病院 (放射線技師)	
	放射線技師として、市立病院で働いています。放射線と聞くと危ないイメージがありますが、身近な様々なものからも微量な放射線が出ています。 放射線技師は、その放射線を安全に活用して、様々な検査を行います。放射線の持つ「透過力」を生かして、人を傷つけることなく、体の中を検査することができます。 人の役に立つ仕事がしたいと思い、医療関係の仕事に就くことを目指してきました。 この仕事は、患者の容態に合わせた検査ができ、その後の適切な治療に繋がっていくところに魅力を感じます。
駿東伊豆消防本部	
	駿東伊豆消防本部は、沼津市を含めて、4市3町を管轄しています。毎日、火災や救急の通報があり、私たちがその都度現場に急行して対応しています。 消防の中には、消防隊や通信指令センターのほか、指揮隊、救急隊、警防隊などがあります。勤務時間は、平日の日中に勤務する「毎日勤務」と、24時間勤務する「交替勤務」とがあります。交替勤務の日は、日中は装備の点検や訓練、事務作業をします。夕方以降は、交替で食事や仮眠を取りながら、通報があれば出動します。翌日は休みです。 現在、駿東伊豆消防本部には24名の女性隊員が所属しています。女性隊員は様々な隊で活躍しています。女性だからできないという仕事はありません。私もレスキュー隊の一員として、事故現場等での救助活動にあたっています。
こども未来創造課	
	保育士として、大平保育園で働いています。保育士は、子どもたちと同じ時間を共有することで、子どもたちの基本的生活習慣や社会的ルールを養っていく仕事です。 保育士というと女性のイメージが強い仕事だと思います。事実、全国でも男性保育士は約6%であり、私が働く保育園も男性は私 1 人だけですが、保育園の中では男性であることが生かされる仕事もあり、男性保育士の需要は増加しています。また、私の職場では、男性も育休が取得できる等、性別関係なく働きやすい職場づくりが進められています。 保育士になる前は別の仕事をしていましたが、先生へのあこがれがあり、保育士になる決断をしました。子どもたちの日々の成長を間近で見ることができ、その喜びを子どもと共有できることがこの仕事の魅力です。

米久(株)



米久では、お肉を使った食品を製造、販売しています。最近では、「ラブライブ」や「鬼滅の刃」とのコラボ商品も販売しており、スーパーなどで皆さんも目にする機会があるかもしれません。

私は、新しい商品を考案する商品開発の仕事をしています。商品開発では、新しい商品の考案することを通じてお客さまの悩みを解決することを目指しています。販売に向けては、多くの試作品を作る必要があるため、毎日いろいろな試作品を食べています。

自分の考えた商品が流通して、それを食べた人から「おいしい」といわれることにやりがいを感じます。皆さんには、興味があること、好きなことを大事にして、色々な知識をつけて大人になってほしいと思います。

農林農地課



私は土木を学べる高校を卒業し、沼津市役所に土木に関する技師職として就職しました。皆さんは、「土木」と聞いて何を思い浮かべますか？

土木の仕事は、社会インフラを作る仕事です。道路、河川、水道などの整備に関わっています。仕事の内容は、多岐にわたります。例えば、測量を行ったり、工事について業者と打ち合わせを実施したり、地元への説明を行ったりします。また、地震や台風などの災害時には、土のうを積むなどの緊急対応をします。

土木の仕事は、「きつい、きたない、きけん」の3K労働だと思われがちですが、現代では改善されてきています。また、土木に関する職業についている女性も増えてきています。